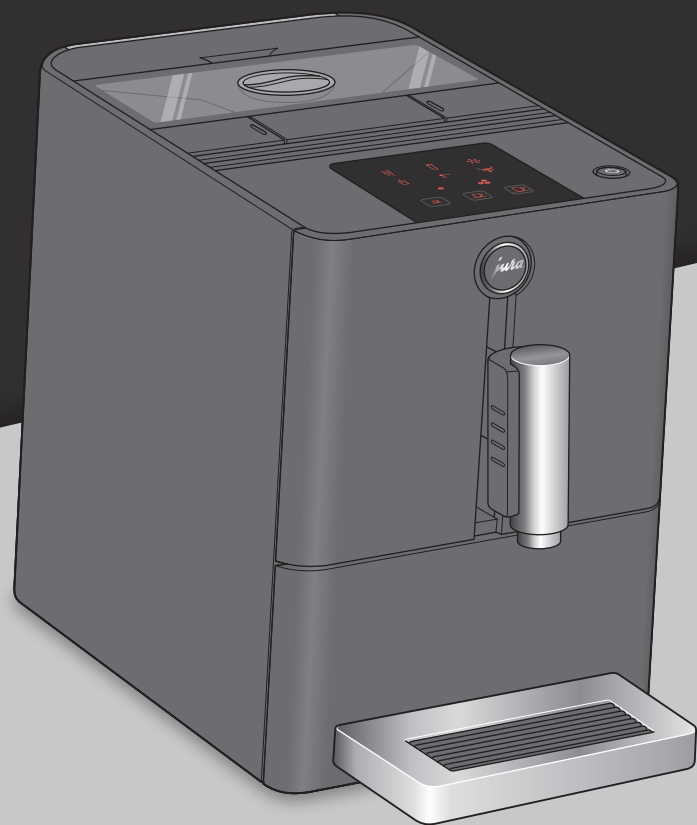




エスプレッソ式コーヒーメーカー

ENA Micro 1 エナ ミクロ1

取扱説明書



安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
各部の名称	6
液晶パネルの見方	8
はじめてお使いになる前に	9
フィルターの取り付け	9
コーヒーを抽出する	12
抽出量の設定を変える	13
使用中は	14
給水する	14
コーヒーかす、排水トレイの水を捨てる	14
お手入れ	15
使用後のお手入れ	15
ホッパーのお手入れ	15
定期的なメンテナンス	16
クリーニングする	16
フィルターを交換する	17
アラーム表示	18
こんなときは	20
消耗品	21
ご購入が可能な消耗品	21
お客様自身で交換ができない消耗品	21
保管方法	22
初期化／水抜きの方法	22
抽出量設定値の初期化	22
水抜き方法	22
長期間使用しない場合	23
廃棄について	23
アフターサービスについて	23
仕様	23

- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

〈表示の説明〉



警告

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この指示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があることを示しています。



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

図の中や近傍に具体的な指示／禁止内容が表記されています。



警告

■ 電源コード・電源プラグについて



電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

傷んだまま使うと、感電・ショート・火災の原因になります。

- コード・プラグの修理は販売店にご相談ください。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・火災の原因になります。

定格 15A (100V) のコンセントを単独で使用し、コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外の電源では使用しない。

火災・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない。

感電の恐れがあります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。



アースを接続する。

アースを接続せずに万一漏電が起こった場合は、感電や火災の恐れがあります。

- アース工事が必要な場合は、販売店・電気工事店にご依頼ください

警告

■ 製品の取り扱いについて



分解禁止

当社に認定されたサービスマン以外は分解・修理・改造をしない。(電源コードやプラグを含む)

製品が正常に作動せずに水漏れ、感電、火災などの原因となります。



プラグを抜く

この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動した可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、感電や火災などの原因となります。

● 販売店もしくは弊社コールセンターにご連絡ください。

異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

● すぐに販売店もしくは、弊社コールセンターにご連絡ください。



付近でガス漏れの可能性がある場合には、直ちに使用を中止する。

● 使用しているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。



本体の内部にある部品や電気配線、配管などに触れない。

やけどや感電の原因となります。

当社が推奨または販売していない部品を使用しない。

火災・感電・けがの原因となります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。

本体に水がかかってしまった場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社コールセンターにご連絡ください。



子どもが使用するときは、近くで監督する。

また、幼児の手の届くところで使用しない。

注意

■ 電源コード・電源プラグについて



使用中は電源コードが本体に触れないようにする。

感電・ショートの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

感電やショートして発火することがあります。



プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

安全上のご注意 (続き)



注意

■ 設置について



本体は水平で安定し、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置する。
また、熱に弱い敷物の上で使用しない。
不安定な場所に設置すると、落下や転倒などによりけがの原因となります。



天然木や天然石の上に置く場合、水や洗剤の飛沫がついても影響がない材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護をおこなう。

使用の際に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。



壁や家具の近くでは使用しない。
蒸気や熱により変形、変色する恐れがあります。

■ 使用中について



抽出する前に、抽出ヘッドの位置に注意してカップを置く。また、高さの低いカップの場合は、抽出ヘッドの高さを低くする。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。

排水トレーにたまった水はこまめに捨てる。
水がこぼれて、床や机を汚す原因になります。



抽出中は、抽出口に顔や手を近づけない。
抽出液や熱湯の飛沫によりやけどの原因になります。



抽出中や抽出直後は、抽出口など高温部に触れない。

接触禁止

やけどの原因となります。

作動中にホッパーの中に手を入れない。
けがの原因になります。

■ 製品の取り扱いについて



製品を移動する場合には、電源プラグをコンセントから抜き、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかすなどがなく、十分に冷めていることを確認してからおこなう。
やけどや感電の原因となります。

長期間使用しない場合は、本体内部に残っている豆を使い切る。

本体内部に豆が残っていると、次に使用するとき古い豆で抽出をおこなってしまいます。



本体を落下させたり倒したりしない。
けがや故障の原因となります。

本来の目的以外には使用しない。
事故の原因となります。

■ お手入れについて



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。



本体は水洗いしない。
感電の原因になります。



フィルターの交換やクリーニングは規定通りに実施する。

規定通りにおこなわないと、細菌が繁殖する原因になります。

かす受け容器、排水トレーは使用后すぐに清掃する。

コーヒーかすを放置すると、カビが生える原因になります。

使用上のご注意

■ 設置場所について

- 周辺温度が 10～35℃の場所に設置してください。
(上記範囲外だと故障の原因)
- 直射日光が常に当たる場所、埃やちりが多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。
(故障の原因)
- 本体の周囲に熱がこもらないように、周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。
(熱がこもると故障の原因)
- ガスコンロ、電熱器、熱くなったオーブンなどの上やそばに置かないでください。
(熱によって変形し、故障の原因)

■ 使用時

- 給水タンクに水以外のものやお湯を入れないでください。
(故障の原因)
- ホッパー（7ページ参照）にコーヒー豆以外のものや挽いたコーヒー粉を入れないでください。
- 野外では使用しないでください。
(故障の原因)
- 給水タンクに水を入れていない状態で使用しないでください。
(故障の原因)
- 最大容量（給水タンクのMAXライン）を超えた水を入れて使用しないでください。
(故障の原因)

■ 使用後

- 電源プラグをコンセントから取り外すときは、本体の電源をオフにし、本体の動作が止まってからおこなう。
(故障の原因)

■ お手入れ時

- 本体のプラスチック部分の清掃にアルコール類を使用しないでください。
(破損の原因)
- 本体の上面は傷が付きやすいため、メガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- 外した部品や機器の清掃に、乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
(破損や変形の原因)

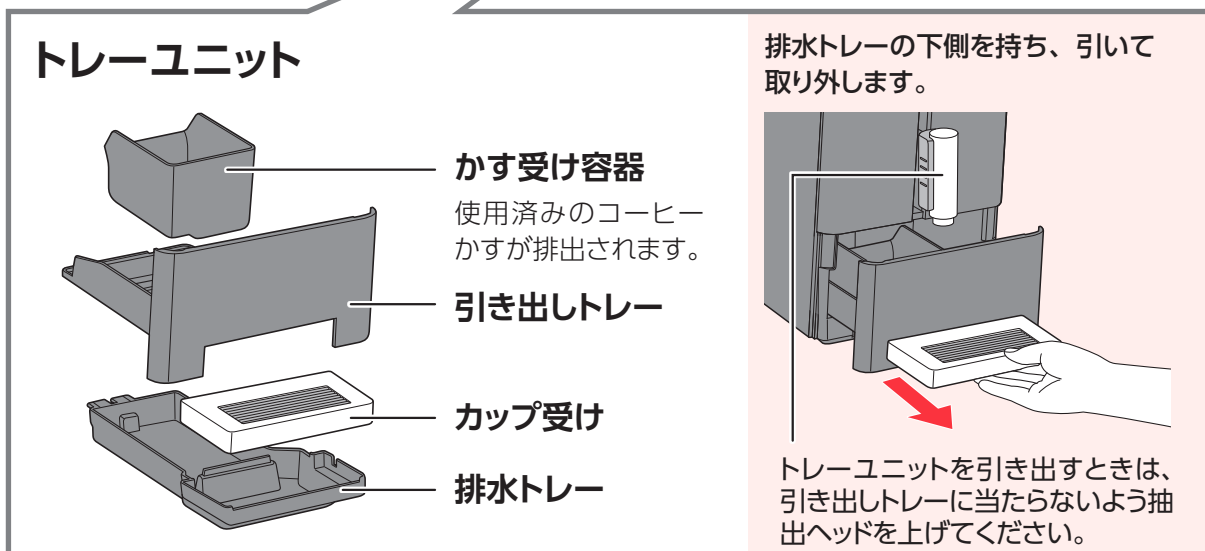
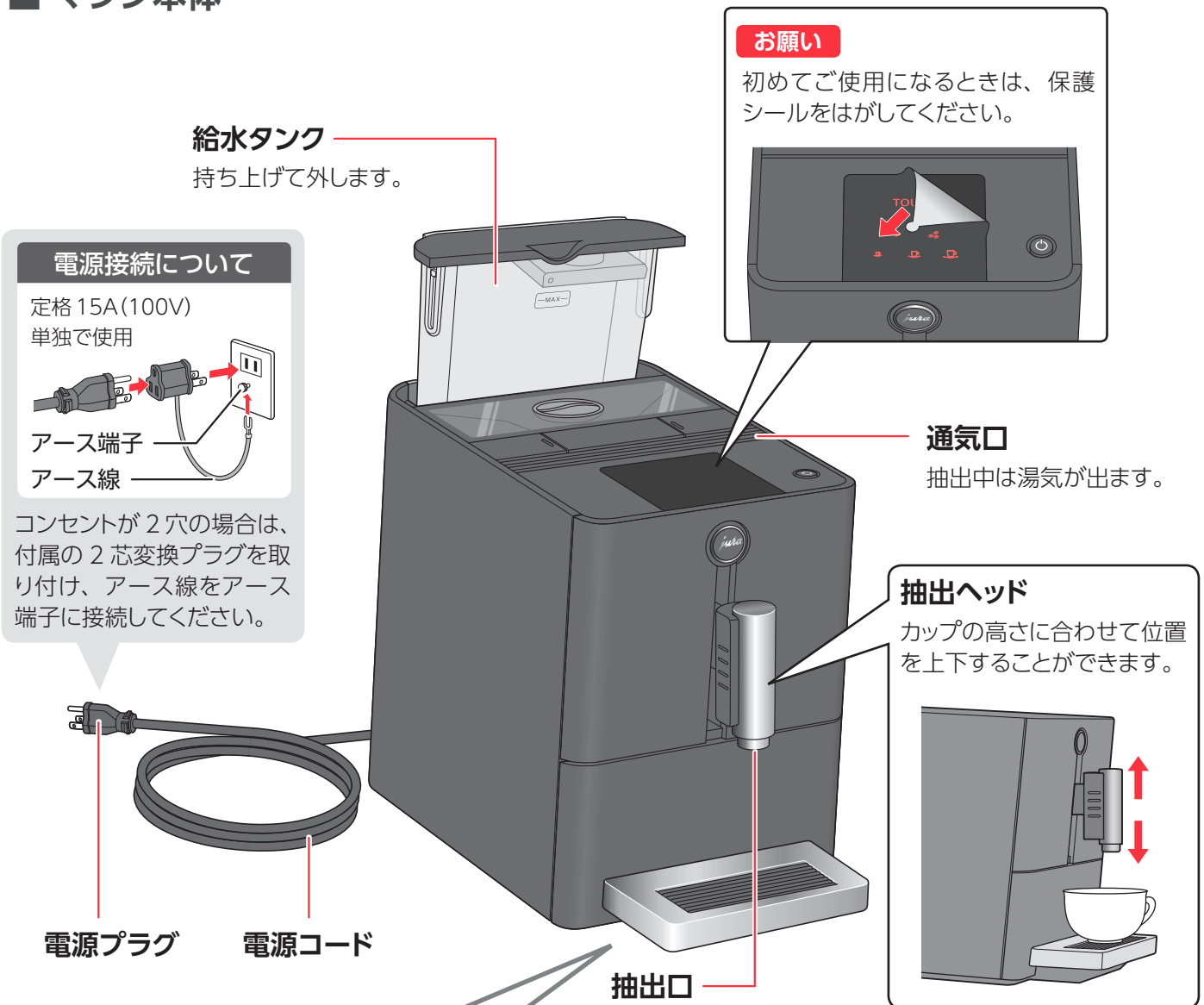
毎日のお手入れ方法は、15ページを参照してください。

各部の名称

はじめに各部品がすべてそろっているかご確認ください。

梱包時の箱は、本体を保管するときなどに使用しますので、捨てずに保管しておいてください。

■ マシン本体



ポイント

エネルギーセーブモード

電源オン時、30分間ボタン操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。

■ マシン本体上面

ホッパー

コーヒー豆を入れます。

※ ホッパーの下（外からは見えません）にはコーヒー豆を挽くグラインダー（コーヒー豆を粉状にするための部品）があります。

お願い

ホッパーにコーヒー豆以外のものやコーヒー粉を入れないでください。故障の原因になります。

コーヒー粉投入口

コーヒー粉を投入します。

また、クリーニング剤もここから投入します。

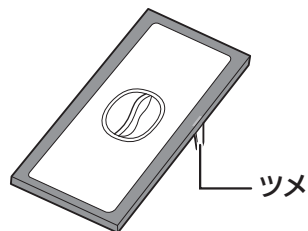
液晶ディスプレイ

→ 8 ページ

電源ボタン

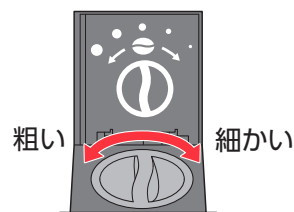
ホッパーふた

ふたをかぶせると、ツメが本体のスイッチを押し、ふたが閉まっていることを感知します。

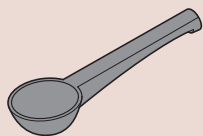


挽き目調節ダイヤル

コーヒー豆を挽くときの粒度を5段階で調節します。

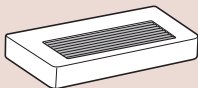


■ 付属品



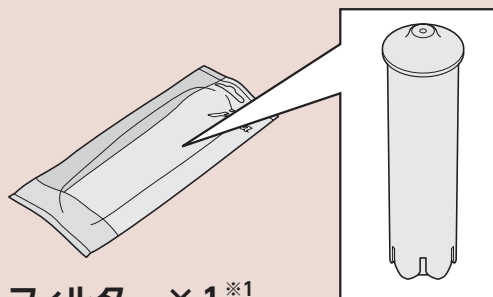
コーヒースプーン × 1

コーヒー粉やコーヒー豆を投入するときに使います。



カップ受け × 1

本体から外された状態で梱包されていますので、排水トレイに取り付けてください。
(6 ページ参照)



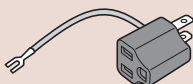
フィルター × 1^{※1}

(クラリスブルーフィルター)
給水タンクに取り付けます。

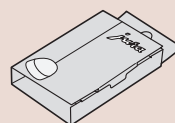


ろうと × 1

コーヒー粉を投入するときに使用します。



2芯変換プラグ × 1














クリーニング剤 × 1^{※1}

(2錠入り)^{※2}

※1 消耗品 (21 ページ参照) ※2 サンプル品

液晶パネルの見方



		
<p>スケールランプ</p> <p>スケール（水あか）除去が必要な時期になると点灯します。フィルターを使用する設定になっている場合は、点灯しません。点灯したときは、フィルターを取り付けてください。 → 9 ページ</p>	<p>フィルターランプ</p> <p>フィルターの交換時期になると点灯します。点灯したときは、フィルターを交換してください。 → 17 ページ</p>	<p>クリーニングランプ</p> <p>マシンクリーニングが必要な時期になると点灯します。点灯したときは、クリーニングをしてください。 → 16 ページ</p>
		
<p>給水ランプ</p> <p>給水タンクに水がありません。水を入れてください。</p>	<p>粉投入口オープンランプ</p> <p>コーヒー粉投入口のふたを開けると、点灯します。</p>	<p>コーヒーかすランプ</p> <p>トレイユニットを本体にセットしてから7～8杯抽出すると、点灯します。点灯したときは、コーヒーかすを捨ててください。 → 14 ページ</p>
		
<p>コーヒー粉量選択ボタン（ノーマル）</p> <p>マイルドな味わいに抽出します。少ない量で抽出するときやアメリカンを楽しむときに。</p>	<p>コーヒー粉量選択ボタン（ストロング）</p> <p>リッチな味わいに抽出します。多めの量を抽出するときやエスプレッソを楽しむときに。</p>	
		
<p>抽出ボタン（小）</p> <p>20ml でコーヒーを抽出します。</p>	<p>抽出ボタン（中）</p> <p>35ml でコーヒーを抽出します。</p>	<p>抽出ボタン（大）</p> <p>135ml でコーヒーを抽出します。</p>

はじめてお使いになる前に

はじめてお使いになるときは、ご使用になる前に以下の準備をします。

※ 本製品は、工場で実際にコーヒー豆を使って抽出テストをおこなってから出荷しています。そのため、初めてお使いになる場合でも、コーヒー粉が残っている場合があります。

フィルターの取り付け

必ずクラリスブルーフィルター（品番：411579）を使用してください。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます。
必ずアース接続してください。

2 電源ボタンを押します。
スケールランプとフィルターランプが点灯します。

3 フィルターランプをタッチします。
給水ランプが点灯します。

スケールランプ

フィルターランプ

給水ランプ

4 以下の手順でフィルターを給水タンクに取り付けます。

① 給水タンクを本体から取り外します。

② 給水タンクのふたを開けます。

③ フィルターホルダーを開けます。

フィルターホルダー ツメを押しなが
ら開ける

④ タンクの底の溝に合わせて、フィルターを
取り付けます。

⑤ フィルターホルダーをカチッと音が
するまで閉じます。

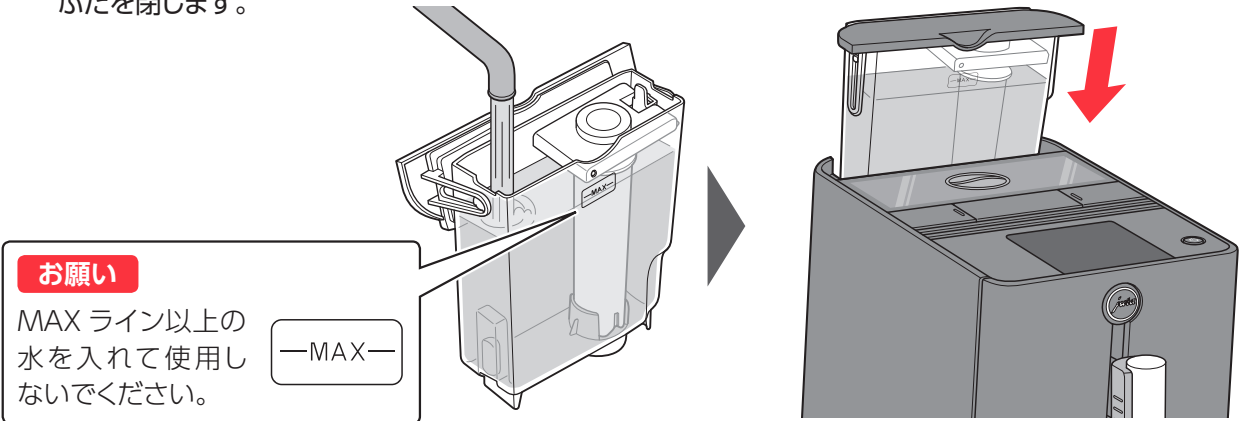
カチッ

はじめてお使いになる前に（続き）

5 給水タンクに水を入れ、本体に取り付けます。

① MAX ライン（約 950ml）まで水を入れ、ふたを閉じます。

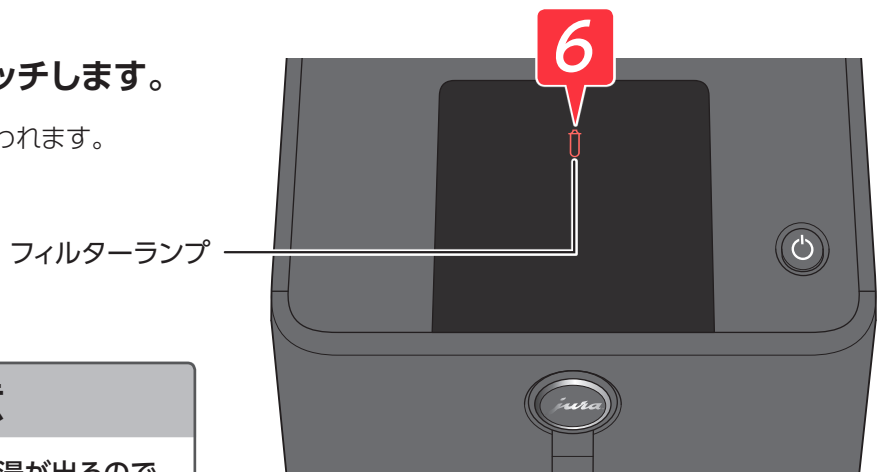
② 給水タンクを本体にセットします。



③ 給水タンクを取り付けると、フィルターランプが点灯します。

6 フィルターランプをタッチします。

フィルターのすすぎがおこなわれます。



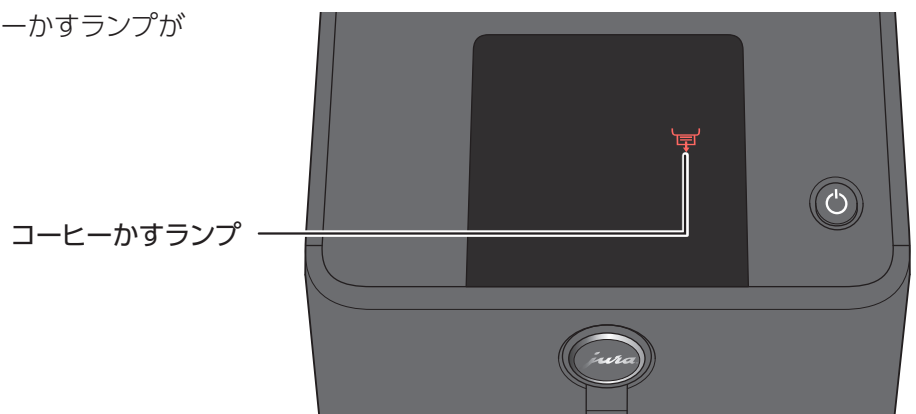
注意

すすぎ中は、排出口からお湯が出るので、やけどに注意する。

フィルターのすすぎ
(フィルターランプと抽出ボタンが点滅)

コーヒー抽出部のすすぎ
(抽出ボタンが点滅)

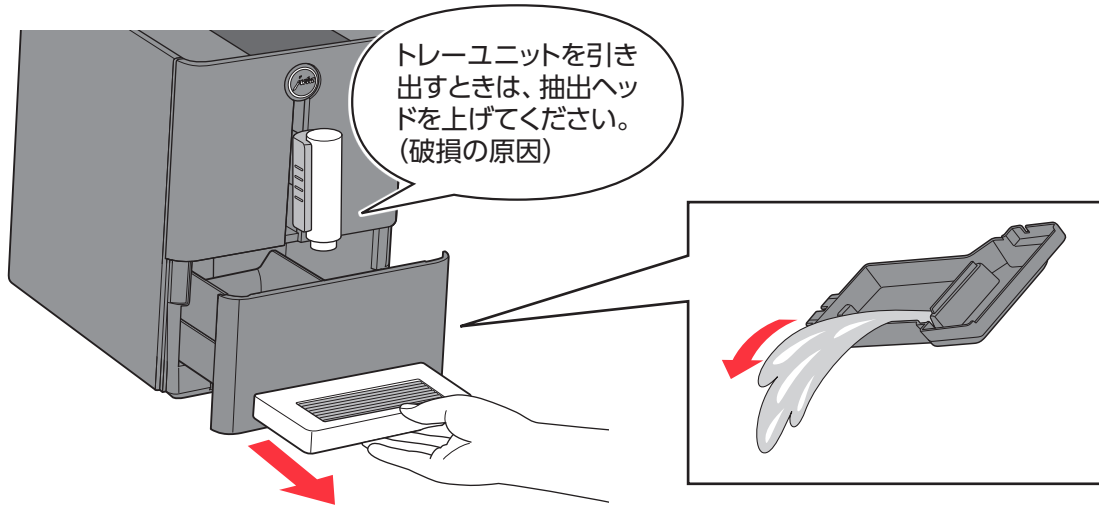
すすぎが終わると、コーヒーかすランプが点灯します。



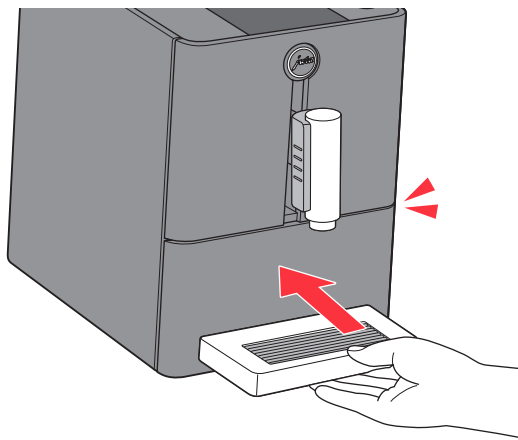
7

排水トレイにたまった水を捨て、すすいだ後、排水トレイを本体に戻します。

- ① トレーユニットを引き出し、排水トレイにたまった水を捨てます。



- ② トレーユニットを本体にセットします。



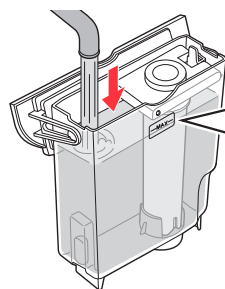
トレーユニットをセットした後は、
抽出口から水が出ます。

コーヒー粉量選択ボタンと抽出ボタンが
点灯したら、準備完了です。



コーヒーを抽出する

1 給水タンクに水を入れ、本体にセットします。



お願い
MAX ライン以上の水を入れて使用しないでください。

2 電源を入れます。

- ① 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② 本体の電源スイッチを押します。
自動的にヒートアップ（マシン内部の加熱）とすすぎがおこなわれます。
ヒートアップ・すすぎ中は、抽出ボタンが点滅し、抽出口からお湯が出ます。
コーヒーが抽出可能になるまで約 40 秒かかります。

しばらく使用していなかったときは
すすぎが始まる前にコーヒー粉量選択ボタンが交互に点滅することがあります。その場合は、どちらかのボタンをタッチし、すすぎを開始してください。



ポイント
コーヒー豆の粒度を調節するときは挽き目調節ダイヤルを回すと 5 段階で粒度が調節できます。

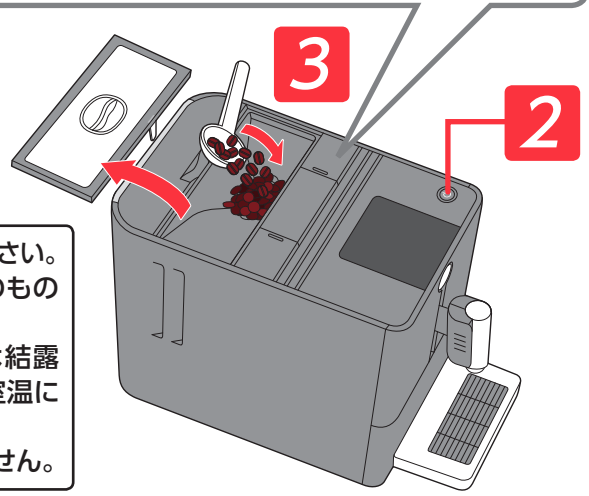
粗い ← → 細かい

粒度の設定は、調節ダイヤルを回した後、2 杯目以降の抽出から効果が得られます。2 杯目以降も効果が得られない場合は、再度調節してください。

お願い
挽き目調節ダイヤルは、グラインダーが動いているときのみ動かしてください。グラインダーが停止しているときにダイヤルを動かすと、故障や破損の原因になります。

3 コーヒー豆を入れます。

- ① ホッパーカバーを外します。
カバーの突起に注意して、真上に引き上げてください。
- ② コーヒー豆をホッパーに入れます。
コーヒー豆は、入れすぎないようにご注意ください。ホッパーカバーが閉まらなくなります。(上限 125g)
- ③ ホッパーカバーを閉めます。
カバーの突起に注意してください。(突起が手前側)



お願い 故障の原因になりますので、以下を守ってください。

- コーヒー豆ホッパーにコーヒー豆以外のものや挽いた豆を入れないでください。
- 冷凍庫や冷蔵庫に入れたコーヒー豆は結露をなくすため、室内にしばらく置き、室温に戻してからご使用ください。
- フレーバーコーヒーはお使いいただけません。

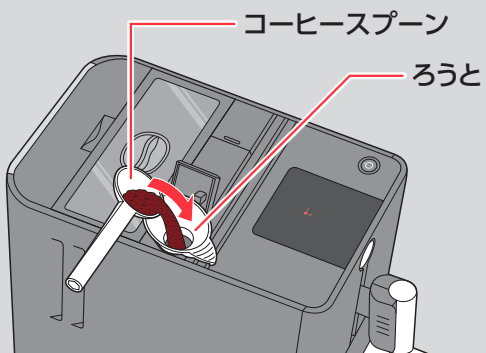
コーヒー粉を使うとき

- ① コーヒー粉投入口のふたを開けます。
コーヒー粉ランプが点灯します。
- ② ろうと（付属）をコーヒー粉投入口にかぶせます。
- ③ コーヒー粉を投入します。
コーヒー粉を投入してから 1 分以内にコーヒー粉投入口のふたを閉じて抽出してください。

使用できるコーヒー粉	「中細挽き」または「中挽き」
投入量	約 7.5g (付属コーヒースプーンすりきり 1 杯) ~ 11g

※ コーヒー粉が上記より少ない場合、抽出されずに、粉がかす受け容器に排出されます。必ず適量を投入してください。

- インスタントコーヒーはご使用になれません。
- 粉は、「中細挽き」または「中挽き」のものをご使用ください。挽き目が細かすぎると、コーヒーの出が悪くなる場合があります。
- 粉を投入してから、約 1 分以内に抽出しないと、自動的にかす受け容器に粉が排出されます。入れ直す場合は、いったんコーヒー粉投入口のふたを閉じてから改めて投入してください。



お願い
コーヒー粉は一度の抽出につきコーヒースプーン 1 杯より多く投入しないでください。故障の原因になります。

- コーヒー粉投入口が粉の付着等で汚れた場合は、取り外して清掃してください。(コーヒー粉投入口は、ふたを上につっぱると取り外すことができます)

4 カップ受けの上にコーヒーカップを置きます。

5 抽出ヘッドの高さを調節します。
背の低いカップの場合、抽出ヘッドの位置が高すぎると、抽出時にコーヒーが飛び跳ねる恐れがありますので、適度な高さに調節してください。

6 コーヒー粉量選択ボタンをタッチして、使うコーヒー粉の量を選択します。
選択したコーヒー粉量選択ボタンは明るく表示されます。

	
マイルドな味わい (約 9g)	リッチな味わい (約 11g)

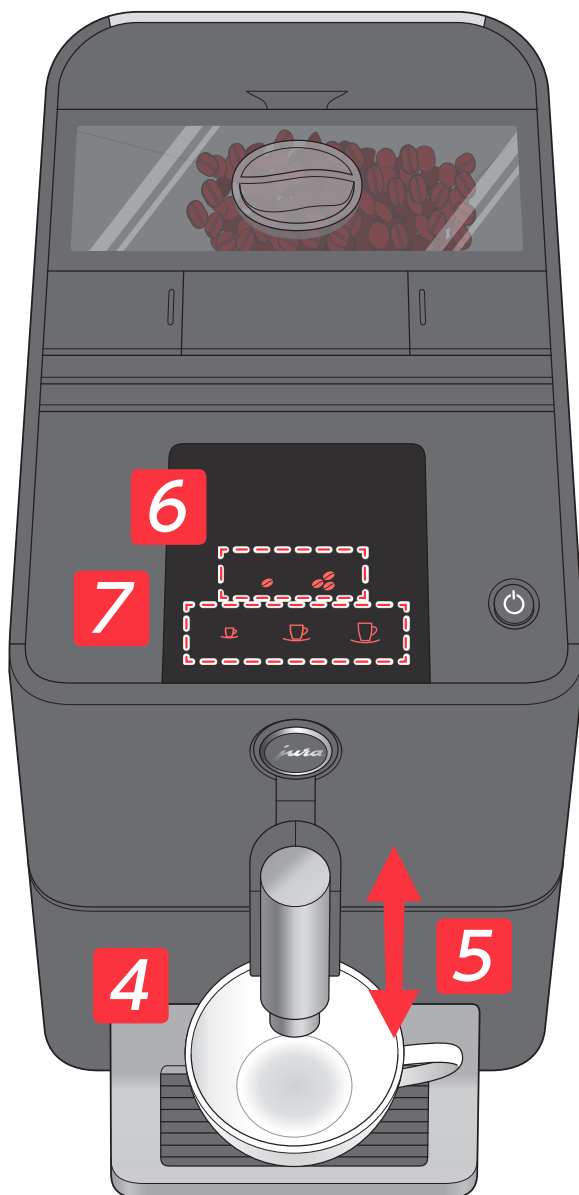
● コーヒー粉投入口にコーヒー粉を入れて使用する場合は、コーヒー豆の量を選択できません。

7 お好みの量の抽出ボタンをタッチします。
タッチすると、コーヒーの抽出が始まり、一定の量が抽出されると、自動的に止まります。
※ 蒸らしのときに少量のコーヒーやお湯が抽出される場合があります。

● 抽出量の目安 (初期設定の場合)
初期設定では抽出ボタンをタッチすると、以下の量のコーヒーが抽出されます。

		
20ml	35ml	135ml

- 抽出を途中で止めるには
点滅している抽出ボタンを再度タッチします。
※ コーヒー豆を挽いているときは中止できません。
- 使い始めやしばらく使用していなかったとき
内部にコーヒー粉が充填されていないと、抽出が途中で止まる場合があります。
その場合は、再度抽出ボタンをタッチしてください。
- コーヒーが抽出されないときは
アラーム表示 (18 ページ) をご確認ください。



注意

抽出中は、やけどに注意する。

ポイント

エネルギーセーブモード

電源オン時、30 分間ボタン操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります。エネルギーセーブモードの解除や時間の変更はできません。

抽出量の設定を変える

抽出ボタンをタッチしたときに出るコーヒーの量を設定することができます。(設定は大・中・小それぞれおこなえます)

- ① 設定したいコーヒー量の抽出ボタンを 3 秒以上タッチし続けます。(コーヒーが抽出され始めたらボタンは離す)
抽出中は、タッチしたコーヒー量の抽出ボタンが点滅し、他の量の抽出ボタンは点灯します。
- ② 希望の量になったら、①でタッチした抽出ボタンを再度タッチし、抽出を止めます。
次回から今回抽出した量で抽出をおこないます (電源プラグをコンセントから抜いても記憶されています)。
 - 最大 200cc まで設定できます。
 - 抽出量の設定をリセットするときは、22 ページ「抽出量設定値の初期化」の手順をおこなってください。

使用中は

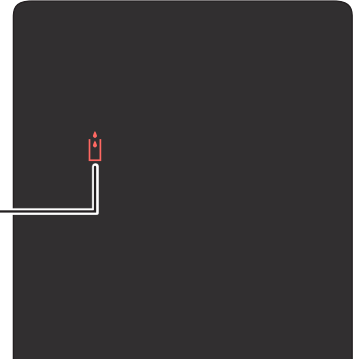
給水する

給水ランプが点灯したら、給水タンクに水を入れます。

目安として、給水タンクに MAX ラインまで水を入れた状態で、コーヒー抽出（大）*を 7 杯分抽出できます。
給水タンクを本体に戻すと、ランプは消灯します。

※ 初期設定 135ml の場合

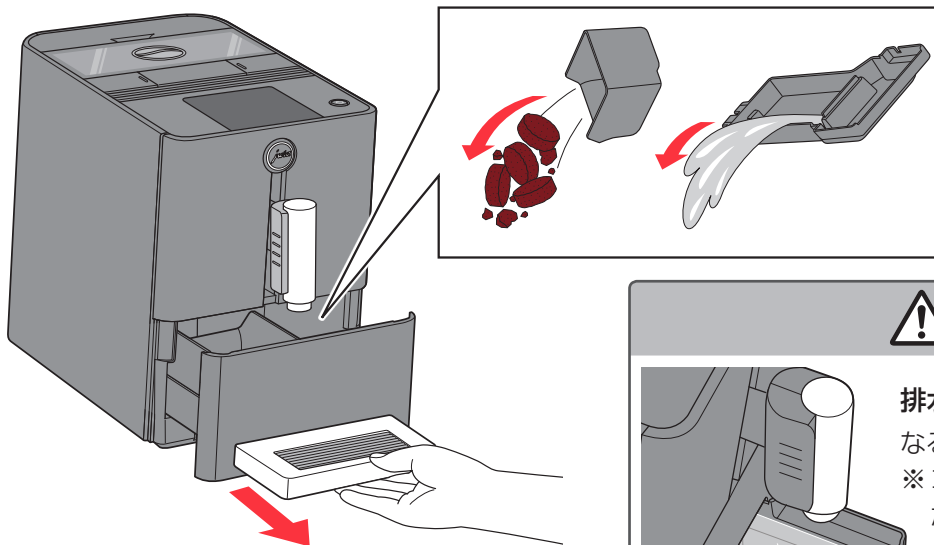
給水ランプ



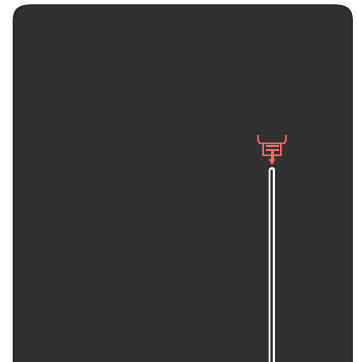
コーヒーかす、排水トレーの水を捨てる

コーヒーかすランプが点灯したら、トレーユニットを引き出し、かす受け容器にたまったかすを捨てます。

コーヒーかすランプはトレーユニットをセットしてから 7～8 杯抽出すると、点灯します。
コーヒーかすを捨てるときは、同時に排水トレーにたまっている水も捨ててください。
※ トレーユニットを引き出したとき、内部がコーヒーかすやコーヒーで汚れているときは清掃してください。(15 ページ)



コーヒーかすランプ



⚠ 注意

排水トレーに水を貯めすぎない。
なるべくこまめに捨ててください。
※ コーヒーを抽出した後、コーヒーかすの水分を取るため、少量の水がトレーに排出されます。

目安として、水位が排水トレー内側のふちに達する前に捨てるようにしてください。

お願い

製品が動作しているときは、トレーユニットを引き出さないでください。
トレーがセットできなくなるおそれがあります。

お願い

コーヒーかすを捨てる時の注意（かす受け容器のカウンターリセット方法）

- 電源を入れた状態でおこなう
- トレーユニットは、本体から取り出してからセットするまで 10 秒以上時間をおく

トレーユニットを引き出すときに電源をオフにしていたり、トレーユニットを引き出してからセットする時間が 10 秒より短いと、カウンターがリセットされず、かすがたまっていなくてもコーヒーかすランプが点灯するときがあります。

お手入れ

⚠ 注意

- 本体は水洗いしない。
感電の原因になります。
- お手入れは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてからおこなう。
やけどの原因になります。

お願い

- 乾燥機、食器洗浄機、高圧水洗浄機は使わないでください。
- クレンザー入りの洗剤や、研磨剤が入ったスポンジは使用しないでください。
- マシンの上面は傷が付きやすいためメガネ拭きなどの柔らかい布を使用してください。
- 本体のプラスチック部分清掃にアルコール類を使用しないでください。

使用後毎回 使用後のお手入れ

使用後はすぐに以下のお手入れをしてください。

1 電源を切る前に、トレイユニットを引き出し、かす受け容器に入っているかすを捨てます。

トレイユニットは引き出してから、セットするまで 10 秒以上時間をおいてください。

2 トレイユニットにかす受け容器をセットし、トレイユニットを本体に戻します。

3 電源ボタンを押して電源をオフにします。

電源をオフにすると、自動的に本体内部のすすぎがおこなわれ、抽出口からお湯が出ます。すすぎが終了すると、お湯は自動的に停止します。

※ クリーニング (16 ページ) 後に電源をオフにすると、すすぎをせずに電源が切れます。クリーニング後に抽出した場合は、電源をオフにすると、すすぎがおこなわれてから電源が切れます。

4 トレイユニットと給水タンクを取り外し、洗います。また、本体内部を清掃します。

給水タンク

タンク内の水を捨て、フィルターを外した後、中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布で水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、フィルターをタンクにセットして本体にセットします。

本体内部

トレイユニットを引き出した状態で、本体内部のコーヒーやコーヒーかす汚れを、かたくしぼった布巾や柔らかいブラシ・刷毛で取り除いてください。※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

かす受け容器、排水トレイ

トレイユニットを引き出し、排水トレイにたまっている水を捨てたあと、かす受け容器と排水トレイを中性洗剤とスポンジで水洗いします。

柔らかい布でよく水分を拭き取り、十分に乾燥させたあと、かす受け容器をトレイユニットに戻し、本体にセットします。

※ コーヒーかすや水分が残っているとカビが生える原因になります。

お願い

トレイユニットは動作音がしなくなってから取り外してください。

トレイユニットがセットできなくなるなどの不具合が起きる可能性があります。

(セットできなくなった場合は 20 ページの「こんなときは」を参照してください)

定期的に ホッパーのお手入れ

ホッパー内にコーヒー豆の油分が蓄積すると、豆がうまく挽けなくなったり、風味を損なう原因になります。

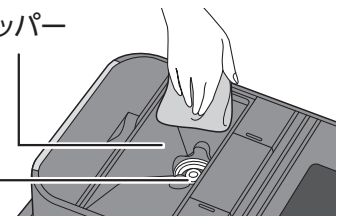
なるべくこまめにホッパーを乾燥した柔らかい布で拭いてください。

お願い

ホッパーは湿った布で拭かないでください。
グラインダーがさびる原因になります。

ホッパー

本体内部はお手入れ
できません。



定期的なメンテナンス

クリーニングする

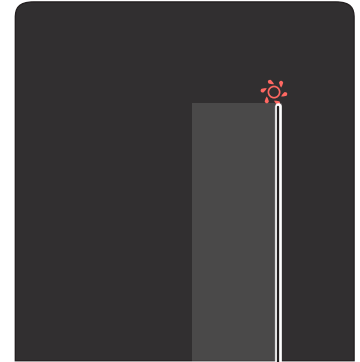
クリーニングランプが点灯したら、以下の手順でクリーニングをおこなってください。(所要時間:約 15 分)

●目安として 180 杯の抽出、または電源オン時のすすぎが 80 回おこなわれると、クリーニングランプが点灯します。

ポイント

クリーニングランプが点灯する前にクリーニングする場合
給水タンクに水を入れた後、コーヒー粉量選択ボタンを 2 つ同時に 3 秒間タッチし、スケールランプ、フィルターランプ、クリーニングランプを点灯させてから、**1** の手順に進みます。
(操作せずに約 20 秒経過すると元の画面に戻ります)

※洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、洗剤使用時は安全の為ゴム手袋や保護メガネの着用をしてください。

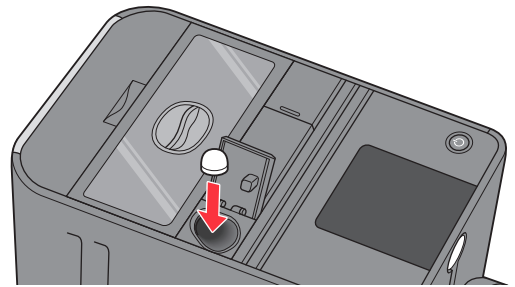



クリーニングランプ


- 1 給水タンクに水をMAXラインまで入れ、本体に取り付けます。
- 2 クリーニングランプを3秒間タッチします。
- 3 トレーユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレーを洗浄し、本体に戻します。
- 4 クリーニングランプをタッチします。
- 5 コーヒー粉投入口のふたを開け、クリーニング剤1錠を投入します。
クリーニング剤は弊社指定のものをお使いください。
- 6 コーヒー粉投入口のふたを閉めます。
- 7 クリーニングランプをタッチします。
クリーニングが始まります。
- 8 クリーニングが終わったら、
トレーユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレーを洗浄し、本体に戻します。


タイプ	品番
JURA マシンクリーナー (6 錠入り)	411715


※ クリーニング剤を投入するタイミングを誤ると、かす受け容器にクリーニング剤が落下します。




▶ コーヒーかすランプが点灯します。 

▶ クリーニングランプが点灯します。 

▶ 粉投入口オープンランプが点灯します。 

▶ クリーニングランプが点灯します。 

▶ 約 15 分後、クリーニングが完了すると、コーヒーかすランプが点灯します。 

これでクリーニングは完了です。

●クリーニング後、コーヒー粉量選択ボタンと抽出ボタンが点灯したら、コーヒーを抽出することができます。

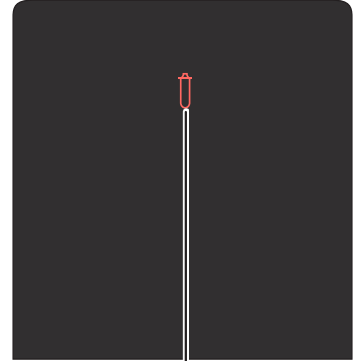
フィルターを交換する

フィルターランプが点灯したら、フィルターを交換してください。
フィルターは必ず「クラリスブルーフィルター」(品番:411579)をお使いください。

お願い

浄水能力の低下が始まりますので、フィルターを取り付けて、2ヶ月経過したら、フィルターランプが点灯しなくてもフィルターを交換してください。

その場合、コーヒー粉量選択ボタンを2つ同時に3秒間タッチし、スケールランプ、フィルターランプ、クリーニングランプを点灯させてから、**1**の手順に進みます。
(操作せずに約20秒経過すると元の画面に戻ります)



フィルターランプ

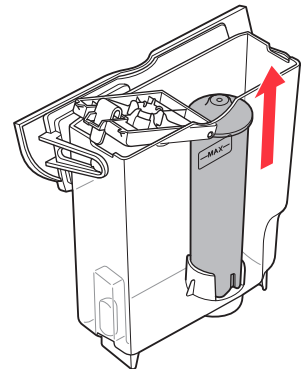
1 フィルターランプを3秒間タッチします。

給水ランプが点灯します。



2 新しいフィルターに交換します。

- ① 本体から給水タンクを外し、タンク内の水を捨てます。
- ② フィルターホルダーを開け、フィルターを持ち上げて外します。
- ③ 新しいフィルターを取り付け、フィルターホルダーを閉じます。
(フィルターの取り付け方法は9ページを参照してください)



3 給水タンクにMAXラインまで水を入れ、本体に取り付けます。

コーヒーかすランプが点灯します。



4 トレーユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレーを洗浄し、本体に戻します。

フィルターランプが点灯します。



5 フィルターランプをタッチします。

フィルターのすすぎが始まります。
※ 通常より大きな音がする場合があります。

すすぎが完了すると、
コーヒーかす受け容器
ランプが点灯します。



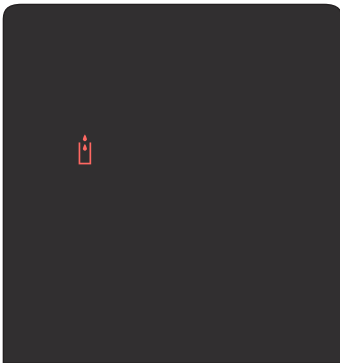
6 すすぎが終わったら、 トレイユニットを引き出して、かす受け容器と排水トレーを洗浄し、 本体に戻します。

これで、クラリスブルーフィルターの交換は完了です。

● フィルターの交換後、コーヒー粉量選択ボタンと抽出ボタンが点灯したら、コーヒーを抽出することができます。

アラーム表示

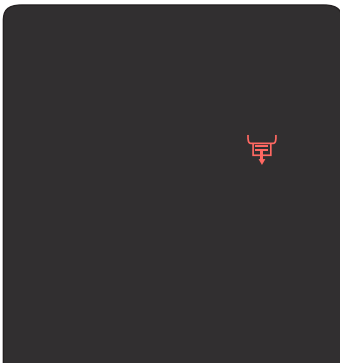
● 給水ランプが点灯する



原因	対処方法
給水タンクが空になっている。	給水タンクに水を入れてください。
給水タンクが正しくセットされていない。	給水タンクを正しくセットしてください。
給水タンク内にある給水フロートが固着している。	給水フロートが動くように水あかを除去してください。
	新しい給水タンクを購入してください。
給水タンクが浮いている。	給水タンクをセットし直してください。

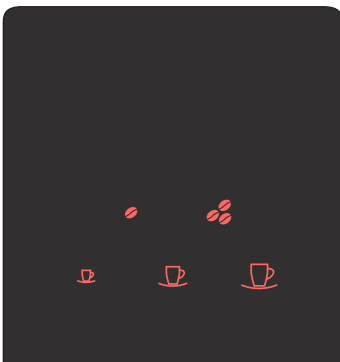
※ 給水タンクに水が十分に入っているにもかかわらず、給水ランプが 5 秒間点灯し、その後電源が切れる場合は、一度電源プラグをコンセントから抜き、差し直してください。それでも復旧しない場合は弊社コールセンターへご連絡ください。

● コーヒーかすランプが点灯あるいは点滅する



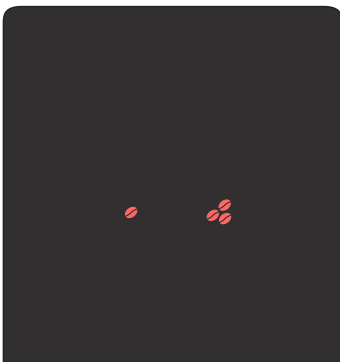
原因	対処方法
(点灯時) コーヒーかす受け容器が満杯になっている。	コーヒーかす受け容器を空にする。 (14 ページ参照)
(点滅時) トレーユニットが正しくセットされていない。	トレーユニットを正しくセットしてください。

● 抽出ボタンとコーヒー粉量選択ボタンが点滅する



原因	対処方法
ホッパーのふたが正しくセットされていない、またはセットされていない。	ホッパーのふたを正しくセットしてください。
ホッパーのふたのツメが折れているため、ふたを閉めても認識されない。	ホッパーのふたを購入してください (21 ページ参照)。

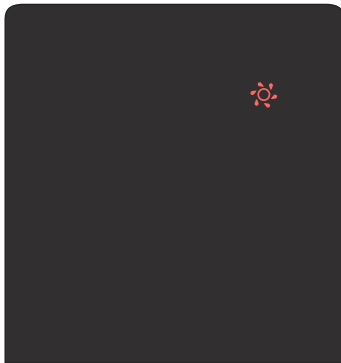
● 電源を入れた直後、または抽出ボタンをタッチしたときに、コーヒー粉量選択ボタンが点灯してお知らせします。



原因	対処方法
抽出ボタンをタッチしたとき、小・大が同時に点滅する。 → 本体内部のコーヒー豆が少なくなっている。	コーヒー豆を十分に入れ、もう一度抽出ボタンをタッチしてください。
電源を入れた直後、小・大が交互に点滅する。 → 本体内部に水が供給されていない。	コーヒー粉量選択ボタン (ノーマル・ストロングどちらでも可) をタッチしてください。

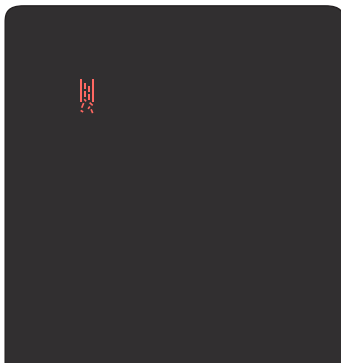
※ 新しいフィルターを使い始めたときやタンク洗浄のためなどでフィルターを外したときは、フィルター内に水がないため「小・大が交互に点滅する」場合がありますが、これは異常ではありません。コーヒー粉量選択ボタン (ノーマル・ストロングどちらでも可) をくり返しタッチしてください。(5 回以内で復旧します)

● クリーニングランプが点灯する



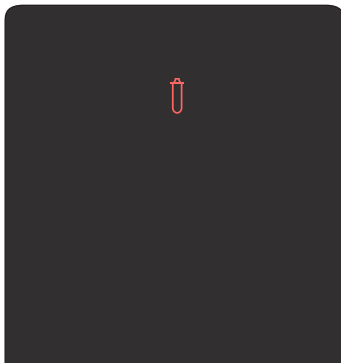
原因	対処方法
クリーニングが必要な状態。	クリーニングしてください。 (16 ページ参照)

● スケールランプが点灯する



原因	対処方法
クラリスブルーフィルターを取り付けていない。	クラリスブルーフィルターを取り付けてください。 (17 ページ[お願い]部分参照)

● フィルターランプが点灯する



原因	対処方法
約 50 リットルの水を使用したため、フィルターの寿命が来た。	クラリスブルーフィルターを交換してください。 (17 ページ参照)

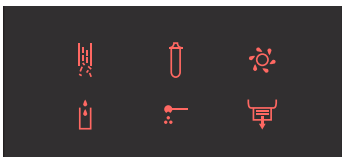
● クリーニングランプ、スケールランプ、フィルターランプ、コーヒー粉量選択ボタンが明るく点灯する



原因	対処方法
プログラミングモードになっている。	コーヒー粉量選択ボタン（ノーマル・ストロングどちらでも可）をタッチしてプログラミングモードを解除してください。

こんなときは

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない／ 液晶ディスプレイの表示が出ない。	コンセントから電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	寒い場所に保管していた。	本体を 10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が暖かくなってから電源を入れてください。
	ディスプレイ保護シートをはがしていません。	保護シートをはがしてください。 (6 ページ参照)
	初めてご使用する場合、フィルターを選択せずに電源を切った。	1 分ほどしてから電源を入れ、フィルターランプをタッチしてください。 (9 ページ参照)
コーヒーの出が悪い。	コーヒー豆の挽き目が細かすぎて、流れが悪くなっている。	挽き目調節ダイヤルを回し、粗めに設定してください。 (12 ページ参照)
	フィルターの目が詰まっている。	フィルターを交換してください。(17 ページ参照)
豆がうまく挽けない。	ホッパー内に異物が入っている。	異物を取り除いてください。
	挽き目が細かすぎる。	挽き目調節ダイヤルを回し、粗めに設定してください。 (12 ページ参照)
	ホッパー内が汚れている。	ホッパー内を清掃してください。 (15 ページ参照)
	豆が湿っている。	新鮮な豆に交換してください。
トレイユニットが本体に入らない。	洗浄中やすすぎ中など、本体の動作中にトレイユニットを抜いてしまったため、本体内部の部品とトレイユニットがぶつかっている。	① かす受け容器を入れない状態で、トレイユニットをいったんセットし、電源をオフにします。 ② 2～3 分してから電源をオンにします。 ③ トレイユニットを抜き、かす受け容器を入れたあと、再度トレイユニットをセットします。
かす受け容器が満杯ではないのにコーヒーかすランプが点灯する。	電源オフの状態でもコーヒーかすを捨てた。 または、コーヒーかすを捨てるときにトレイユニットを取り出してからセットするまで 10 秒以内でおこなった。	電源オンの状態でトレイユニットを外し、かすを捨て、再度セットしてください。 また、トレイユニットは取り出してからセットするまで 10 秒以上間をおいてください(カウンターをリセットさせるため)。 (14 ページ参照)
電源を入れてからある程度時間が経つと電源がオフになる。	エネルギーセーブモードが働いた。 (30 分間ボタン操作がないと、自動的にすすぎがおこなわれ、電源がオフになります)	再度使用するときは、電源スイッチを押して電源を入れてください。 (12 ページ参照) ※エネルギーセーブモードを無効にすることはできません。
電源を入れると、6 個のランプが 5 秒間点滅した後、電源が切れる。	エラーを起こしている。 ※点滅している 6 個のランプのうち、1 つだけ他のランプより明るく光るランプがありますので確認してください。	電源プラグをコンセントから抜き、10℃以上の暖かい場所に 30 分から 1 時間置き、本体が暖かくなってから電源を入れてください。 症状が改善しないときは弊社コールセンターに連絡してください。



消耗品

ご購入が可能な消耗品

部品の購入は、コーヒーマシンを購入した販売店または弊社コールセンターにご連絡ください。
また、一部の消耗品は、弊社ウェブサイトから購入できます。
<https://www.brewmatic.co.jp/JURA/online/>

部品名称	品番
給水タンク	4270618
給水タンクカバー	4270792
ホッパーのふた	4270704
かす受け容器	4270118
カップ受け	4270359
クラリスブルーフィルター	411579
JURA クリーニングタブレット (6 錠)	411715

お客様自身で交換ができない消耗品

以下の部品はお客様自身で交換できません。弊社コールセンターにご相談ください。

部品名称
グラインダー
抽出用ノズル
各種 O リング、ガスケット
抽出ユニットピストンフィルター
抽出ユニット
バイブレーションポンプ

保管方法

- 乾燥した清潔な場所に保管してください。
- 高温多湿な場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
(保管環境温度 4 ~ 60℃)

初期化／水抜きの方法

抽出量設定値の初期化

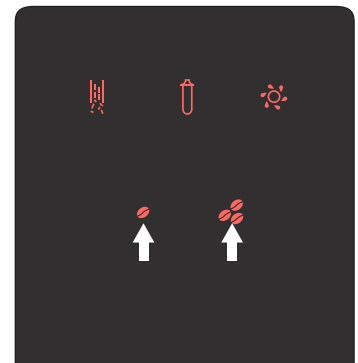
コーヒー抽出量の設定値を初期化するときは、以下の手順でおこなってください。

- ① コーヒー粉量選択ボタン 2 つを同時に 3 秒間タッチします。
スケールランプ、フィルターランプ、クリーニングランプが点灯します。
- ② 給水タンクを取り外します。
- ③ 抽出ボタン (大) をタッチします。
- ④ アイコンが点滅して電源がオフになり、コーヒー抽出量が初期状態に戻ります。

水抜き方法

内部の水を抜くときは、以下の手順でおこなってください。

- ① コーヒー粉量選択ボタン 2 つを同時に 3 秒間タッチします。
スケールランプ、フィルターランプ、クリーニングランプが点灯します。
- ② 給水タンクを取り外し、タンク内の水を捨てます。
- ③ 抽出ボタン (中) をタッチします。
お湯が排水トレーに排出されます。
排水が終わると、給水ランプが点灯します。
- ④ トレーユニットを外し、コーヒー粉投入口のふたを開けます。
- ⑤ 抽出ボタン (中) をタッチします。
アイコンが点滅して電源がオフになったら、水抜きは完了です。



長期間使用しない場合

製品を長期間使用しない場合は、以下の手順で本体内部のコーヒー豆と水を抜きます。

- ① コーヒー豆がなくなるまでコーヒーを抽出します。
- ② 22 ページ「初期化／水抜きの方法」の方法で内部の水を抜きます。
- ③ ご購入時の箱に入れ、適切な場所に保管します。
(22 ページ「保管方法」を参照)

廃棄について

製品やフィルターを廃棄するときは、お住いの各自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

アフターサービスについて

別紙の「保証とアフターサービスについて」と「保証書」をご覧ください。

仕様

寸法	幅 230mm × 奥行 445mm × 高さ 323mm
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	1250W
給水タンク容量	約 950ml (最大容量)
ホッパー容量	125 g
コーヒーかす受け容器の容量	7～8 杯分 ※選択したコーヒー粉量による
質量	約 9 kg
コードの長さ	約 1.6m
保管環境温度	4～60℃
使用環境温度	10～35℃

Made in Portugal



輸入／販売元

ブルーマチックジャパン株式会社

<http://www.brewmatic.co.jp>

本社：〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町 5-4-22

14052024